

この海のはざまで、
あたらしい時代がはじまった。

2026 12/12 Sat - 2027 1/24 Sun

関門海峡建築祭

下関・門司港 ARCHITECTURE FES

PROGRAM

01 建築ツアー
普段非公開のエリアを含む建築物をガイドが案内するツアー

02 セルフガイドツアー
関門海峡エリアの建築を冊子を手に自分のペースでじっくり巡るツアー

03 特別公開・展示
建築祭期間限定の非公開エリア公開や展示を開催

04 特別イベント
関門海峡の建築から観光を考えるイベント開催

05 地域連携企画
建築祭と唐戸市場や栄町銀天街などの地域とのコラボ

関門海峡は、日本が世界へと開かれた玄関口。幕末にこの海で砲声が響いたのち、時代が明治へ移ると、世界中の船が行き交い、石炭と人、技術と文化が集まりました。近代の夜明けを迎えた両岸には、商社が、銀行が、税関が、競うように建ち並んでいきます。

当時の建物たちは、いまもこの地で、あの頃の海を見つめています。扉をくぐれば、港町がもっとも華やいだ時代の熱気が、ふっと立ちのぼる。関門海峡建築祭は、海峡をはさむ門司港と下関、ふたつの街を行き来しながら、ひとつの物語をたどる建築の祭典です。

○参 加 方 法：各ツアー・イベントは事前予約優先（一部当日参加可）
○詳細・予約：公式 WEB サイトまたは右記二次元コードよりご確認ください
○エ リ ア：門司港レトロ地区・下関唐戸エリアの名建築群
※関門連絡船（片道約５分）にて両岸をスムーズに周遊いただけます。

詳しくはこちら

関門海峡建築祭 下関・門司港 ARCHITECTURE FES

文化庁 Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

本プロジェクトは、文化庁 令和８年度「文化資源活用事業費補助金（全国各地の魅力的な文化財活用推進事業）」の補助を受けて実施いたします。